

シナプス

第217号

明るく 優しく たくましく



学校法人 大東中央学園

大東中央
幼稚園

大東中央幼稚園園長室だより
平成26年11月13日発行

☆園長コラム ☆キンダーカウンセラーコラム
☆担任の保育日誌から ☆身体測定・万歩計計測・出席率結果

キビシイお言葉……

先月号で“駅前道路への路駐はジコチュウの極み”と示したばかりなのですが、先日午後「いつもいつも路駐して、邪魔で危なくて仕方がない！幼稚園保護者でしょ！いつも同じナンバーの車で記録してるから警察に言うよっ！こんな危険なことを放置しているのは幼稚園でしょ！幼稚園の責任でしょ！幼稚園の先生が立ち番して駐車させないようにしなさいよっ！」という内容の電話を職員が受けて「ことあるごとに保護者各位には文書で啓発しているのですが」の返答に「そんなことでは何の効果も無いから明日から立ち番しなさいよっ！」というキビシイお言葉。早速対策を検討して、副園長が“駐車禁止”の看板を持って立ち番するとともに、前の交番にも交通安全指導をお願いすることにしましたが……。

キビシイお言葉と言えば、運動会にすることが思い浮かびます。当初は幼稚園園庭で実施していたところが、あまりにも狭いので、近くの氷野小学校運動場をお借りすることにしたとき、4月の運動場使用計画立案会議の席上で、幼稚園としての要望を提示すると「なにも幼稚園だからと言って優遇する必要は無いよね」があり、運動会の最中に「お祭りのだんじり曳航に幼稚園の保護者の路駐が邪魔してるから警察に通報しますよ 今すぐ移動するように言って下さい」がありました。そのこともあって、第32回運動会では谷川中学校運動場をお借りしましたが、この時には「幼稚園の保護者の車が住居駐車場の出入り口前に路駐されて車を出せずに困っています。来年からは谷川中学校を使わないで下さいね。」と、当時の区長さんからキビシイお言葉。思いあまって、南郷小学校運動場をお借りした時には、近くのコンビニ等から、やはり車の駐車に関するキビシイ苦情。

なみはやドームを利用するようになったのは、平成14年の第36回運動会からですが、この時は、保護者から「やっぱり運動会は青空の下でしたいなあー」と、別の意味でのキビシイお言葉。でも、保護者各位の路駐問題は見事に解消出来ました。勿論追い打ちがあり「ドーム駐車場の料金が高いので困ります」というキビシイお言葉。運動会を大成功裡に終了することの難儀さを、今ひしひしと思い返しています。

しかし、園児たちにとっては、こんな事は全く無関係であり、私どもも子どもたちの運動会の意義を第一に考えて進めなければなりません。

園児たちにとっての運動会は、幼稚園生活での遊び＝まねごと・繰り返し・挑戦(冒険)・競争＝の集大成及び成果をお父さんお母さんに見ていただく場だと言えます。

集団の中で先生に見せられる見本を繰り返し繰り返しまねながら次第に身に付け、一つのお遊戯や鼓隊演奏に仕上げていく・園児たち同士または親子で力を合わせつつチームとしてクラス対抗の競技で一位を勝ち取るために競い合う・少々危ない組み合わせを自らの体で上げる組体操等々、いずれにも遊びの要素が含まれているばかりか、お遊戯や鼓隊には、リズム感と隊形移動の美しさの追求及びみんなの協力が欠かせない演技であり、加えて、家族のみんなと一緒に食事をしながら「頑張ったね！すごかったね！」「つぎも頑張ろうね！」等、賞賛・激励される事で情操面の涵養要素も含まれ、幼稚園での運動会に向けての日々の活動は、園児たちの人間性向上に欠かせないものであり、将来の社会生活を円滑に過ごすための基礎基本を学ぶための貴重な場であり機会だと言えます。

いろいろ寄せられるキビシイお言葉にもなんとか耐えられるわけです。 辻本 博人